



8人、“一人一人”が主役!

園長 渡邊 舞

夏休み明けから、ショウリョウバッタやコオロギとの出会いをきっかけに、西幼稚園のみんなにとって、虫が“ワクワクする”対象の一つになりました。そこから、『運動遊びの日（運動会）』に向かって、「むしたちのオリンピック」という種目が生まれ、毎日、虫になっていろいろな動きを楽しんできました。年少さんは、虫になることで、跳んだりジャンプしたりすることがより楽しいと感じ、年長さんは、虫になりながらも、自分なりの目標に向かって難しいことに挑戦しようとする姿がありました。楽しさの中にも「できるようになった」という喜びや「もっと〇〇したい」という次への意欲が毎日の遊びの中で積み重なっています。「むしたちのオリンピック」では、少し傾斜のある平均台を登ったり、クモの巣に見立てたゴムを跳んだりくぐったり、大きな壁に見立てたマットを登ったりします。一見8人が同じコースをたどるように見えますが、実は違います。一人一人が意欲的に挑戦し、達成感が味わえるよう、子ども自身が挑戦する内容に応じて、高さや道具の置き方を考え、決める一工夫をしています。

下の写真は、その一例です。クモの巣に見立てたゴムの周りにカラフルなクモがいます。このゴムは両足をそろえて跳ぶ、ゴムにあたらないようにくぐる、など自分がクリアしたいことに合わせて、その子が選びます。また、ゴムを低くする場面もありますが、安易に誰でも簡単にクリアできるものにするというのではなく、一人一人の目標や難易度に合わせ、一人一人に寄り添い、子どもたちとともに最適な遊具の配置を考えてきました。日々の園生活はもちろんのこと、28日の運動遊びの日は、8人の主体性を尊重し、8人それぞれの「もっと〇〇したい」という気持ちを大切にしたいと考えています。



子どもたち8人の発達、成長するペース、かたちはそれぞれ違います。その様々な違いの中で8人に共通して願うことは、子どもたちが、自分なりの目標に向かってあきらめず、「もっと〇〇したい」という気持ちをもって取り組むこと。この運動遊びの日の経験を確実に次の経験につなげることを意識して、運動遊びの日当日も8人を支えていきます。また、友達のがんばる姿を見て、感じて、意識して、よりお互いを認め合い、大切に思う気持ちが育つことを願っていきます。

当日、私たちは黒子になって8人を支えます。この運動遊びの日からさらに次の「もっと〇〇したい」が生まれるよう、子どもたちのための、子どもたちによる、**8人一人一人が主役**の運動遊びの日になります。8人にあたっかい声援を、どうぞよろしくお願ひします。